

船舶事故等調査報告書

平成25年9月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013仙第31号
事故等種類	運航不能（機関損傷）
発生日時	平成25年6月6日（木） 19時32分ごろ
発生場所	新潟県新潟市新潟港東区 新潟港東区西防波堤灯台付近 （概位 北緯38°01.2′ 東経139°13.9′）
事故等調査の経過	平成25年6月12日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーモーターボート アイ・シー・アイ号、3.1トン
船舶番号、船舶所有者等	250-48804新潟、有限会社I・C・I
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	シリンダライナに亀裂、点火プラグに濡損等
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者3人を乗せ、新潟港東区を航行中、平成25年6月6日19時32分ごろ、徐々に速度が出なくなり、主機が、突然、停止した。 本船は、新潟港西防波堤先端付近に漂着し、船長及び同乗者3人は、同防波堤に避難した後、修理業者を通じて海上保安庁に救助を要請し、21時25分ごろ巡視艇に救助された。 本船は、巡視艇にえい航され、新潟港東区の岸壁に着岸した。
気象・海象	気象：天気 薄曇り、風向 北、風速 約2m/s、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期、波高 約0.2～0.4m
その他の事項	本船の主機は、4ストローク8シリンダの船内外機であった。 本船は、本インシデント後、船長が手配した修理業者が点検したところ、点火プラグの取付け穴から水が出てきた。 本船は、以前、スクリューに網が絡まったことがあり、それ以来、速度が上がらない状態であった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、新潟港東区を航行中、主機のシリンダライナに亀裂が入り、燃焼室に水が入ったことから、点火プラグが着火できなくなり、主機が停止して運航不能になったものと考えられる。 シリンダライナの亀裂は、本インシデント前、スクリューに網が絡

	まったことが関与して生じた可能性があると考えられる。
<b>原因</b>	本インシデントは、夜間、本船が、新潟港東区を航行中、主機のシリンダライナに亀裂が入り、燃焼室に水が入ったため、点火プラグが着火できなくなり、主機が停止したことにより発生したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 発航前点検を行い、また、機関に異常を感じた場合には、出港を控え、修理業者に依頼して機関の点検を行うこと。